

まっくろくろすけ 第2回交渉実施 論点が絞られる

一般財団法人デモクラティックスクール「まっくろくろすけ」との第2回団体交渉を9/23に実施、第1回交渉で経営側から示されたKさんの解雇理由に対する当方からの反論に対して、改めて経営側からの説明を受けました。交渉では解雇事由①にある「子どもへの接し方、問題があった時の対応の仕方やサポーターとしての資質・能力・態度に問題があり、子どもの育成・教育に携わる支援者として不適當であるため。それにより安心して過ごすことができない子や不安を感じる保護者がいるため。」といった内容に関してやり取りを行いました。結局のところ本件解雇が正当だったのか否かに論点が絞られたように思われました。

また、解雇事由③「問題解決のための話し合いの結果受けた注意からも改善が見られず、話し合いもできないため。このようなことが続くことは業務や子どもたちの学び・成長に支障をきたすため」について、Kさんは「(話し合いの席で個人の意見として注意・改善を求める発言はあったが)経営側から正式なかたちでの注意・改善を求める指導は無かった」とコメントしています。

Kさんの申し立て通りであるならば、本件解雇は正当性を失うこととなります。今回も交渉は時間切れにより打ち切らざるを得ませんでした。交渉の最後にユニオンから「解雇の手続きについても問題がある」と指摘し、交渉を終えました。



映画『ここから』上映会を加古川で行います



全日本建設運輸連帯労働組合関西生コン支部の刑事弾圧に抗する闘いを描いた『ここから』の上映会を下記により行います。

「この映画は生コン支部事件という戦後最大の労働組合弾圧事件の深層を、長期間の取材にもとづいて描いたものです。主人公の松尾聖子さんは3人の子どもの育てるシングルマザーです。日々雇用の生コン車のドライバーでした。労働組合に加入したことで賃金は上がり、女性ならではの働きづらさも改善していきました。正社員にもなることができました。そんな組合を大弾圧が襲います。…」(レイバーネット日本より引用)

記

- ◇ 日時:10月24日(火)18時半～
- ◇ 場所:兵庫県加古川総合庁舎1階講座研修室
- ◇ 入場料:1200円(パンフレット代含む)